

美浜発電所 3 号機
高浜発電所 1, 2, 3, 4 号機
大飯発電所 3, 4 号機

電線管の火災防護（系統分離）対策に係る
設計及び工事計画（変更）認可申請

補足説明資料
（別添資料）

2023年4月
関西電力株式会社

別添 1-1

美浜 3 号機

各火災区域（区画）の影響軽減対策

1. 目 的

本資料は、火災防護に関する説明書6.2項に示す各火災区域、火災区画の系統分離対策の状況を示すために、別添として添付するものである。

2. 内 容

美浜3号機における各火災区域又は火災区画の系統分離対策の状況を、次頁以降の表に示す。

区分	番号	名称	原子炉の安全停止に必要な機器等の有無(注1)	放射性物質貯蔵容器の機器等の有無(注1)	重大事故等対策施設の有無(注2)	成功バスの有無(注3)	火災感知器	消火設備	消火方法	防護する系統	防護対象のケーブルの有無	防護対象の電線管の有無	基本設計方針	備考 (電線管配置内容)
火災区画		補助建屋サンプ及び通路エリア	有	有	無	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分種) ケーブルトレイ消火設備(系統分種)	自動 自動	A	有	有	ロ	
火災区画		水素再結合装置エリア	有	有	無	有	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー(消火困難) エアロゾル消火設備(消火困難)	手動の固定 自動	B	有	有	ロ	
火災区画		1次系ケーブルルチユイス	有	無	無	無	煙感知器 熱感知器	全域ハロン消火設備(消火困難、系統分種) ケーブルトレイ消火設備(系統分種)	自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		余熱除去クラー室前通路エリア	有	有	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分種) ケーブルトレイ消火設備(系統分種) エアロゾル消火設備(消火困難) 周所ハロン消火設備(消火困難)	自動 自動 自動 自動	B	有	有	ハ	
火災区画		D原子炉コントロールセンター及び通路エリア	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分種) ケーブルトレイ消火設備(系統分種) エアロゾル消火設備(消火困難) 周所ハロン消火設備(消火困難)	自動 自動 自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		換気空調設備エリア	有	有	有	無	煙感知器 炎感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分種) ケーブルトレイ消火設備(系統分種) エアロゾル消火設備(消火困難)	自動 自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		ほう酸タンク室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	全域ハロン消火設備(消火困難、系統分種)	自動	A	無	有	ロ	
火災区画		リレー室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	全域ハロン消火設備(消火困難、系統分種) ケーブルトレイ消火設備(系統分種)	自動 自動	B	有	有	ロ	
火災区画		配線処理室	有	無	無	無	煙感知器 熱感知器	全域ハロン消火設備(消火困難、系統分種) ケーブルトレイ消火設備(系統分種)	自動 自動	B	有	有	ハ	
火災区画		電動補助給水ポンプエリア	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分種) ケーブルトレイ消火設備(系統分種) エアロゾル消火設備(消火困難) 周所ハロン消火設備(消火困難)	自動 自動 自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		タービン動補助給水ポンプ室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー(消火困難)	手動の固定	A	無	有	ロ	
火災区画		装置用空気圧縮機及び1次系冷却水クレーンエリア	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分種) ケーブルトレイ消火設備(系統分種) エアロゾル消火設備(消火困難) 周所ハロン消火設備(消火困難)	自動 自動 自動 自動	A	有	有	ロ	
火災区画		Cメタクラ及びCパワーセンター室(Aトレイン)	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	全域ハロン消火設備(消火困難、系統分種) ケーブルトレイ消火設備(系統分種)	自動 自動	B	有	有	ロ	

(注1)「有」の設備が「有」である、又は火災防護対象ケーブルがある場合は、消火困難対象の火災区域又は火災区画
(注2)火災の影響軽減対策には別としない
(注3)「無」であれば系統分種対策対象の火災区域又は火災区画

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

美浜発電所3号機 各火災区域(区画)における火災の影響軽減対策(2/2)

区分	番号	名称	原子炉の安全停止に必要な機器等の有無(注1)	放射線物質貯蔵等の機器等の有無(注1)	重大事故等対策施設の有無(注1)(注2)	成功バスの有無(注3)	火災感知器	消火設備	消火方法	防護する系統	防護対象のケーブルレイの有無	防護対象の電線管の有無	基本設計方針	備考 (電線管設置内容)
火災区画		補助建屋よう素除去排気フィルタユニット室	無	無	無	—	—	消火器又は消火栓	手動	A	無	有	ハ	
火災区画		Aバッチャリ室	有	無	有	有	煙感知器 熱感知器	全域ハロン消火設備(消火困難)	自動	B	有	有	ハ	
火災区画		Bバッチャリ室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	全域ハロン消火設備(消火困難、系統分隲) ケーブルマルチレイ消火設備(系統分隲)	自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		1 次系冷却水ポンプエリア	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリングラレー(消火困難、系統分隲) ケーブルマルチレイ消火設備(系統分隲) 局所ハロン消火設備(消火困難、系統分隲)	自動 自動 自動	B	有	有	ロ	
火災区画		換気空調設備エリア	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリングラレー(消火困難、系統分隲) ケーブルマルチレイ消火設備(系統分隲) エアロゾル消火設備(消火困難)	自動 自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		換気空調フィルタユニットエリア	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリングラレー(消火困難、系統分隲) ケーブルマルチレイ消火設備(系統分隲)	自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		燃料取替専用水タンク及び吸排水タンクエリア	有	無	有	—	熱感知器 炎感知器	消火器又は消火栓	手動	A	無	有	イ	
火災区域		海水ポンプエリア	有	無	有	無	熱感知器 炎感知器	消火器又は消火栓 炭酸ガス消火設備(系統分隲)	手動 自動	A	無	有	イ	
火災区画		排水管トレンチ	有	無	無	無	煙感知器 熱感知器	スプリングラレー(消火困難、系統分隲)	自動	※	有	無	イ	

(注1)いすれかの設備が「有」である。又は火災防護対象ケーブルがある場合は、消火困難対象の火災区域又は火災区画
(注2)火災の影響軽減対策には該当しない
(注3)「無」であれば系統分隲対策対象の火災区域又は火災区画

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

別添 1-2

美浜 3 号機

火災防護対策 火災区域又は火災区画の系統分離対策

1. 目的

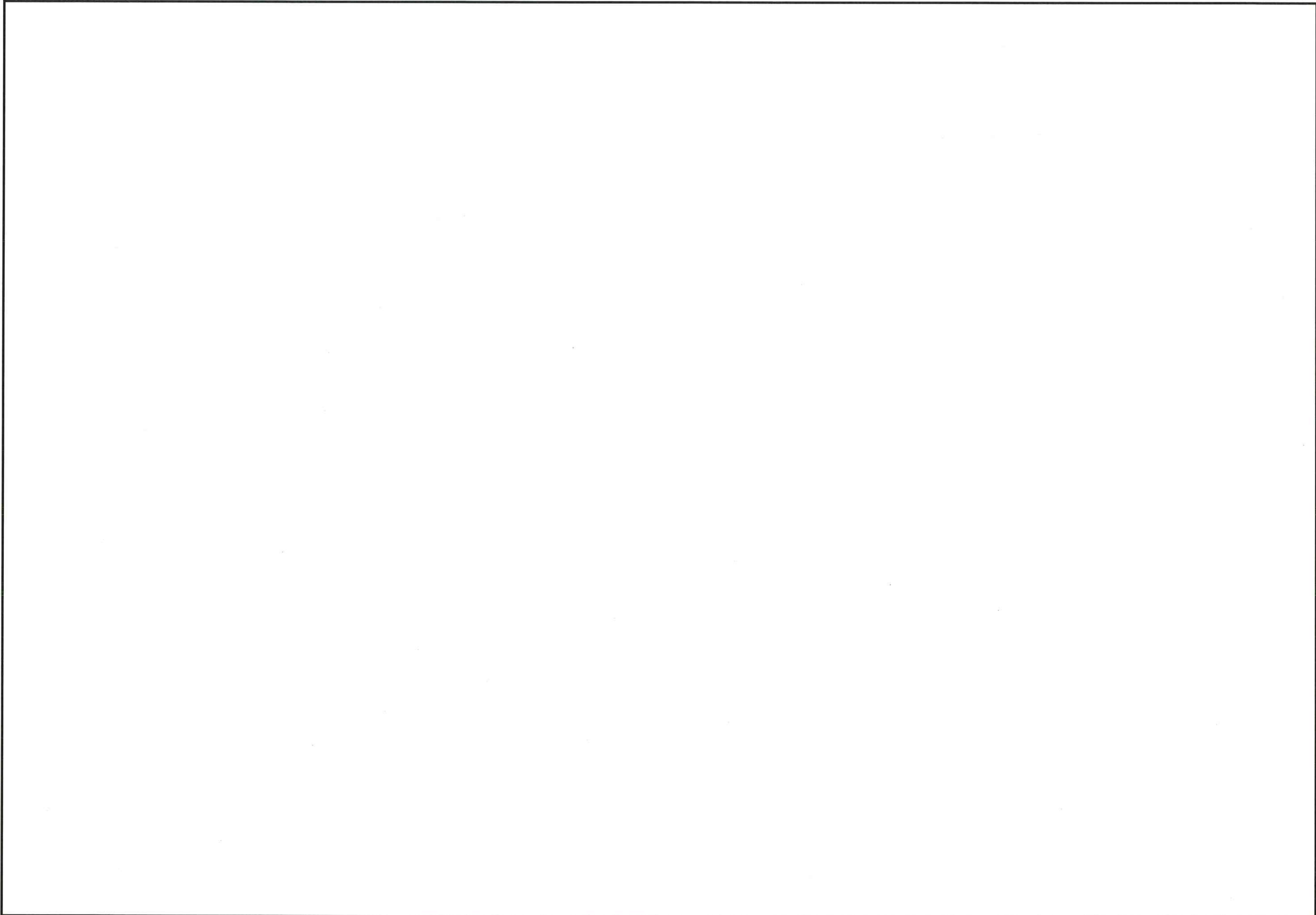
本資料は、火災防護に関する説明書 6.2 項に示す火災の影響軽減対策を行う箇所を示すために、別添として添付するものである

2. 内容

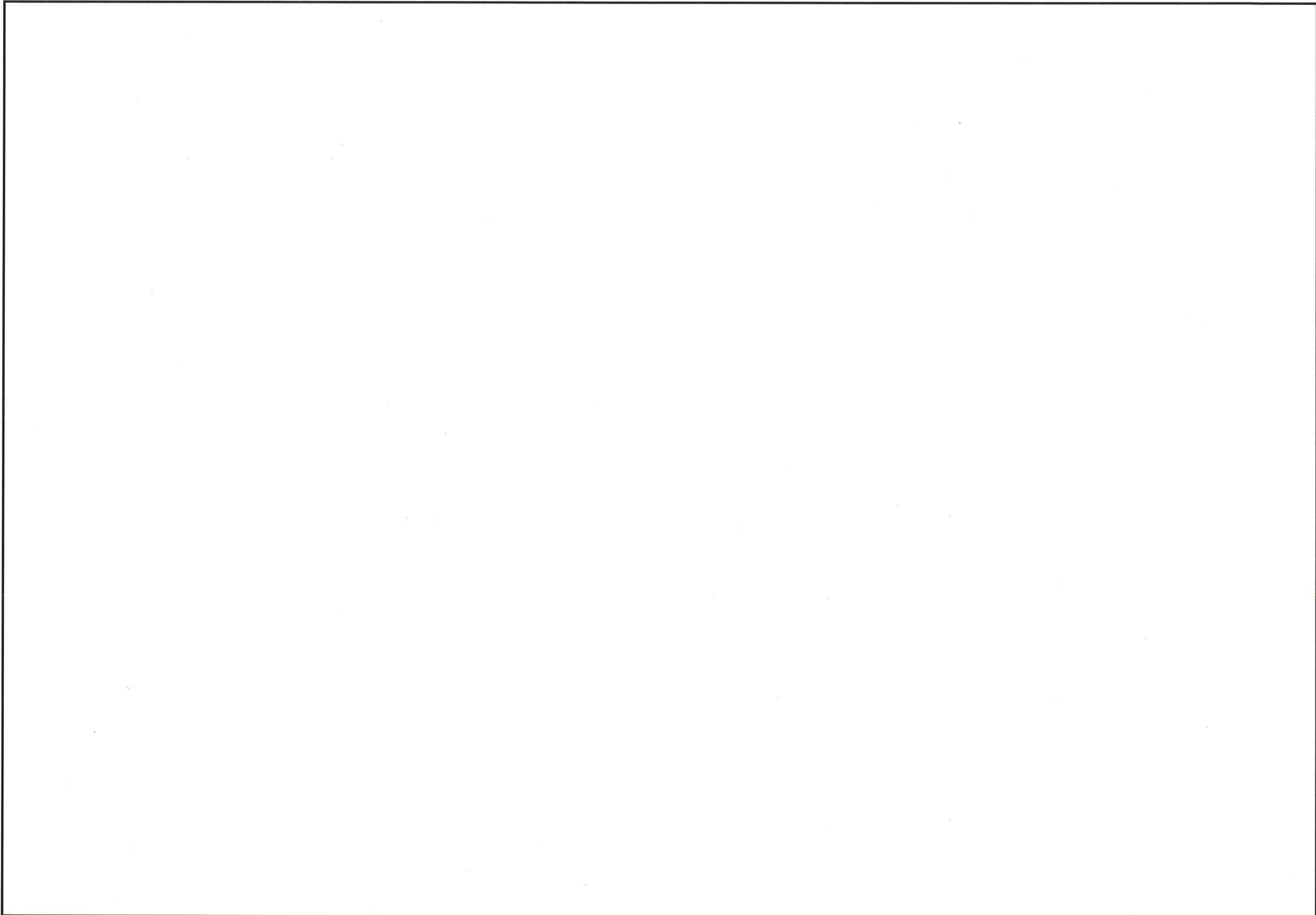
美浜 3 号機における火災の影響軽減対策を実施する箇所を示す資料を、次頁以降に示す。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



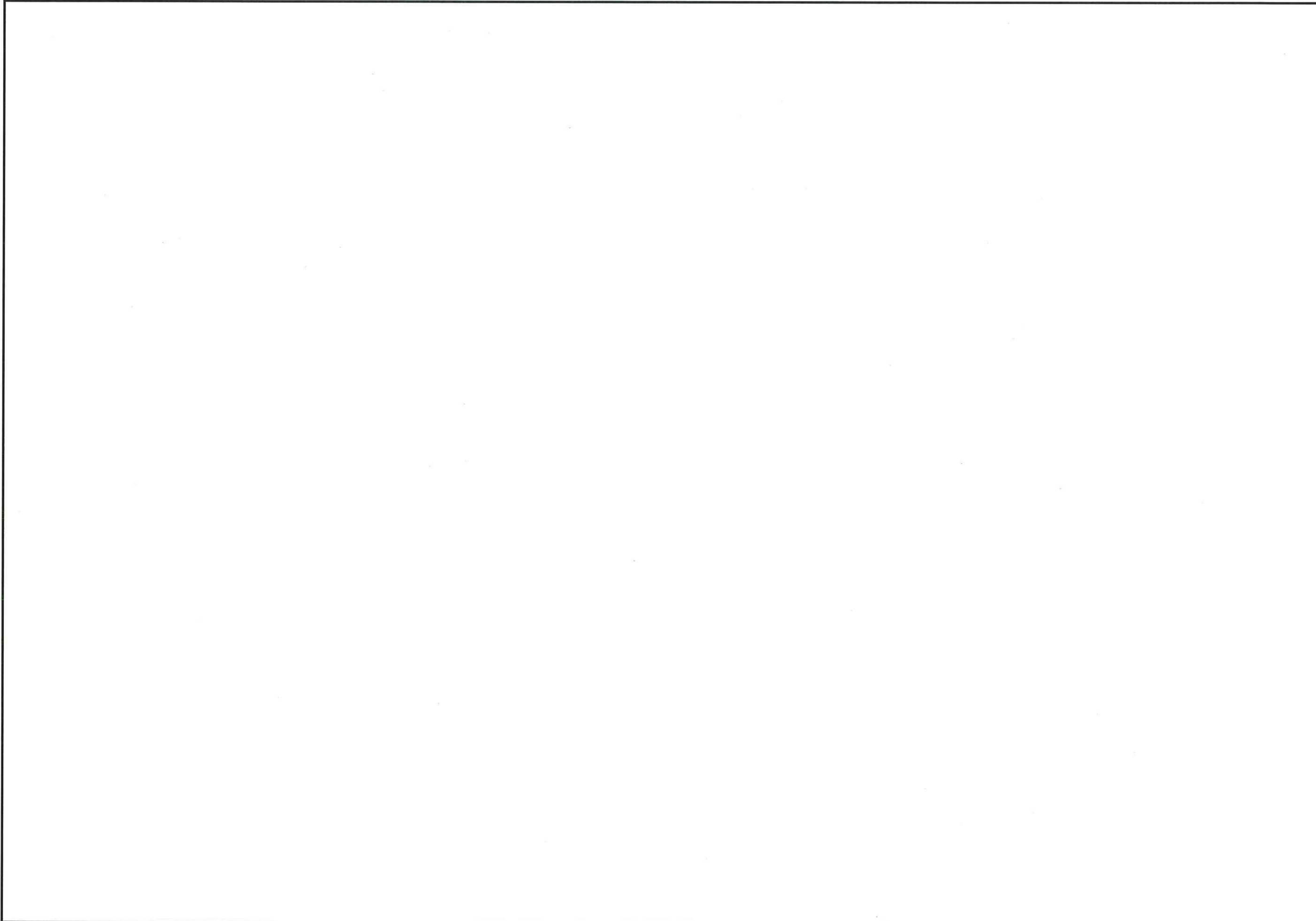
枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

別添 2-1

高浜 1, 2 号機

各火災区域（区画）の影響軽減対策

1. 目 的

本資料は、火災防護に関する説明書6.2項に示す各火災区域、火災区画の系統分離対策の状況を示すために、別添として添付するものである。

2. 内 容

高浜1，2号機における各火災区域又は火災区画の系統分離対策の状況を、次頁以降の表に示す。

高圧発電所1号機 各火災区域 (区画) における火災の影響軽減対策 (1/2)

区分	番号	名称	原子炉の安全停止に必要な機器等の有無 (注1)	放射性物質貯蔵等の機器等の有無 (注1)	重大事故等対処施設の有無 (注2)	成功パスの有無 (注3)	火災感知器	消火設備	消火方法	防護するシステム	防護対象のケーブルトレイの有無	防護対象の配管の有無	基本設計方針	備考 (配管配置内容)
火災区画		原子炉補助建屋 [] 廊路	有	有	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー (消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備 (系統分離)	自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		R/R及びスプレ配管室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー (消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備 (系統分離)	自動 自動	B	有	有	ハ	
火災区画		ケーブルマルチエイス室	無	無	無	無	煙感知器 熱感知器	全滅ハロン消火設備 (消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備 (系統分離)	自動 自動	A	有	有	ロ	
火災区画		原子炉補助建屋 [] 廊路	有	有	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー (消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備 (系統分離)	自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		原子炉補助建屋 [] 廊路1	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー (消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備 (系統分離) 局所ハロン消火設備 (消火困難) エアロゾル消火設備 (消火困難)	自動 自動 自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		原子炉補助建屋 [] 廊路2	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー (消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備 (系統分離)	自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		原子炉補助建屋 [] 廊路	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー (消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備 (系統分離)	自動 自動	B	有	有	ロ	
火災区画		ほう酸タンク室	有	無	有	無	煙感知器 突感知器	全滅ハロン消火設備 (消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備 (系統分離)	自動 自動	B	無	有	ロ	
火災区画		Bスイッチギヤ室	有	無	無	無	煙感知器 熱感知器	全滅ハロン消火設備 (消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備 (系統分離)	自動 自動	A	有	有	ロ	
火災区画		中央制御室外原子炉停止盤室 (1・2号機共用)	有	無	無	無	煙感知器 熱感知器	全滅ハロン消火設備 (消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備 (系統分離)	自動 自動	B	有	有	ロ	
火災区画		2次系リレー室 (1・2号機共用)	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	全滅ハロン消火設備 (消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備 (系統分離)	自動 自動	A	有	有	ロ	
火災区画		1次系リレー室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	全滅ハロン消火設備 (消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備 (系統分離)	自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		ケーブル処理室 (1・2号機共用)	無	無	無	無	煙感知器 熱感知器	全滅ハロン消火設備 (消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備 (系統分離)	自動 自動	A	有	有	ロ	
火災区画		1次系冷却水クーラ室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	局所ハロン消火設備 (消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備 (系統分離) エアロゾル消火設備 (消火困難)	自動 自動 自動	B	有	有	ハ	
火災区画		Aスイッチギヤ室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	全滅ハロン消火設備 (消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備 (系統分離)	自動 自動	B	有	有	ロ	

(注1) いずれかの設備が「有」である、又は火災防護対象ケーブルがある場合は、消火困難対象の火災区域又は火災区画

(注2) 火災の影響軽減対策には関連しない

(注3) 「無」であれば系統分離対策対象の火災区域又は火災区画

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

高浜発電所1号機 各火災区域（区画）における火災の影響軽減対策（2/2）

区分	番号	名称	原子炉の安全停止に必要な機器の有無(注1)	放射線物質貯蔵等の機器の有無(注1)	重大事故等対処施設の有無(注2)	成功パスの有無(注3)	火災感知器	消火設備	消火方法	防護する系統	防護対象のケーブルレイの有無	防護対象の電線管の有無	基本設計方針	備考 (電線管処置内容)
火災区画		1次系冷却水ポンプ室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー（消火困難） 局所ハロン消火装置（消火困難、系統分離） ケーブルトレイ消火設備（系統分離） エアロソール消火設備（消火困難）	手動 自動 自動	B	有	有	ハ	
火災区画		Aバッチリー室	有	無	有	有	煙感知器 熱感知器	全城ハロン消火設備（消火困難、系統分離）	自動	B	有	有	ロ	
火災区画		Bバッチリー室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	全城ハロン消火設備（消火困難、系統分離） ケーブルトレイ消火設備（系統分離）	自動 自動	A	有	有	ロ	
火災区画		換気空調設備室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー（消火困難、系統分離） ケーブルトレイ消火設備（系統分離）	自動 自動	B	有	有	ハ	
火災区画		アニュラス循環フィルタユニット室	無	無	有	有	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー（消火困難）	自動	B	有	有	ハ	
火災区域		海水ポンプ室	有	無	有	無	炎感知器 熱感知器	二酸化炭素消火装置（消火困難、系統分離）	自動	B	無	有	ハ	
火災区域		海水ポンプ室ケーブルトレントレンチ	無	無	無	無	煙感知器 熱感知器	ケーブルトレイ消火設備（消火困難、系統分離）	自動	B	有	有	ハ	
火災区域		海水管トレントレンチ	無	無	無	無	煙感知器 熱感知器	ケーブルトレイ消火設備（消火困難、系統分離）	自動	B	無	有	ハ	

(注1) いずれかの設備が「有」である、又は火災防護対象ケーブルがある場合は、消火困難対象の火災区域又は火災区画

(注2) 火災の影響軽減対策には関係しない

(注3) 「無」であれば系統分離対策対象の火災区域又は火災区画

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

高浜発電所2号機 各火災区域（区画）における火災の影響軽減対策（1/2）

区分	番号	名称	原子炉の安全停止に必要ない機器等(注1)の有無	放射線物質貯蔵等の機器等(注1)の有無	重大事故等対応施設の有無(注2)	成功パスの有無(注3)	火災感知器	消火設備	消火方法	防護する系統	防護対象のケーブルレイの有無	防護対象の有無	基本設計方針	備考 (電線管配置内容)
火災区画		原子炉補助建屋	有	有	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー（消火困難、系統分離） ケーブルトレイ消火設備（系統分離）	自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		R/R及びスプレ配管室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー（消火困難、系統分離） ケーブルトレイ消火設備（系統分離）	自動 自動	B	有	有	ハ	
火災区画		ケーブルラチェイス室	無	無	無	無	煙感知器 熱感知器	全域ハロン消火設備（消火困難、系統分離） ケーブルトレイ消火設備（系統分離）	自動 自動	A	有	有	ロ	
火災区画		原子炉補助建屋	有	有	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー（消火困難、系統分離） ケーブルトレイ消火設備（系統分離）	自動 自動	B	有	有	ハ	
火災区画		原子炉補助建屋	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー（消火困難、系統分離） ケーブルトレイ消火設備（系統分離） 局所ハロン消火設備（消火困難） エアロソール消火設備（消火困難）	自動 自動 自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		原子炉補助建屋	有	有	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー（消火困難、系統分離） ケーブルトレイ消火設備（系統分離） エアロソール消火設備（消火困難）	自動 自動 自動	B	有	有	ロ	
火災区画		ほう殿タンク室	有	無	有	無	煙感知器 炎感知器	全域ハロン消火設備（消火困難、系統分離）	自動	B	無	有	ロ	
火災区画		ケーブルラチェイス	無	無	無	無	煙感知器 熱感知器	全域ハロン消火設備（消火困難、系統分離） ケーブルトレイ消火設備（系統分離）	自動 自動	B	有	有	ロ	
火災区画		1次系リレー室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	全域ハロン消火設備（消火困難、系統分離） ケーブルトレイ消火設備（系統分離）	自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		1次系冷却水クーラー室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	局所ハロン消火設備（消火困難、系統分離） ケーブルトレイ消火設備（系統分離） エアロソール消火設備（消火困難）	自動 自動 自動	B	有	有	ハ	
火災区画		Aスイッチギヤ室	有	無	無	無	煙感知器 熱感知器	全域ハロン消火設備（消火困難、系統分離） ケーブルトレイ消火設備（系統分離）	自動 自動	B	有	有	ロ	
火災区画		1次系冷却水ポンプ室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー（消火困難） 局所ハロン消火設備（消火困難、系統分離） ケーブルトレイ消火設備（系統分離） エアロソール消火設備（消火困難）	自動 自動 自動 自動	B	有	有	ハ	
火災区画		補助建屋よう素除去排気ファンユニット室	無	無	無	有	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー（消火困難）	自動	B	無	有	ハ	

(注1) いずれかの設備が「有」である、又は火災防護対象ケーブルがある場合は、消火困難対象の火災区域又は火災区画
 (注2) 火災の影響軽減対策には該当しない
 (注3) 「無」であれば系統分離対策対象の火災区域又は火災区画

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

高浜発電所2号機 各火災区域（区画）における火災の影響軽減対策（2/2）

区分	番号	名称	原子炉の安全停止に必要な機器等 ^(注1) の有無	放射性物質貯蔵等の機器等 ^(注1) の有無	重大事故等対応施設 ^(注1) の有無 ^(注2)	成功パスの有無 ^(注3)	火災感知器	消火設備	消火方法	防護する系統	防護対象のケーブルレイの有無	防護対象の有無	基本設計方針	備考 (電線管配置内容)
火災区画		バッテリー室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	全域ハロン消火設備（消火困難、系統分離） ケーブルトレイ消火設備（系統分離）	自動 自動	A	有	有	ロ	
火災区画		換気空調設備室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリングラレー（消火困難、系統分離） ケーブルトレイ消火設備（系統分離）	自動 自動	B	有	有	ハ	
火災区画		アニメラス循環フィルタユニット室	無	無	有	有	煙感知器 熱感知器	スプリングラレー（消火困難）	自動	B	有	有	ハ	
火災区画		海水ポンプ室	有	無	有	無	炎感知器 熱感知器	二酸化炭素消火装置（消火困難、系統分離）	自動	B	無	有	ハ	
火災区画		海水ポンプ室ケーブルトレントラ	無	無	無	無	煙感知器 熱感知器	ケーブルトレイ消火設備（消火困難、系統分離）	自動	B	有	有	ハ	
火災区画		海水ストレーナー室及び海水管トンネル	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	ケーブルトレイ消火設備（消火困難、系統分離）	自動	A	有	有	ハ	

(注1) いずれかの設備が「有」である、又は火災防護対象ケーブルがある場合は、消火困難対象の火災区域又は火災区画

(注2) 火災の影響軽減対策には該当しない

(注3) 「無」であれば系統分離対策対象の火災区域又は火災区画

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

別添 2-2

高浜 1, 2号機

火災防護対策 火災区域又は火災区画の系統分離対策

1. 目的

本資料は、火災防護に関する説明書 6.2 項に示す火災の影響軽減対策を行う箇所を示すために、別添として添付するものである

2. 内容

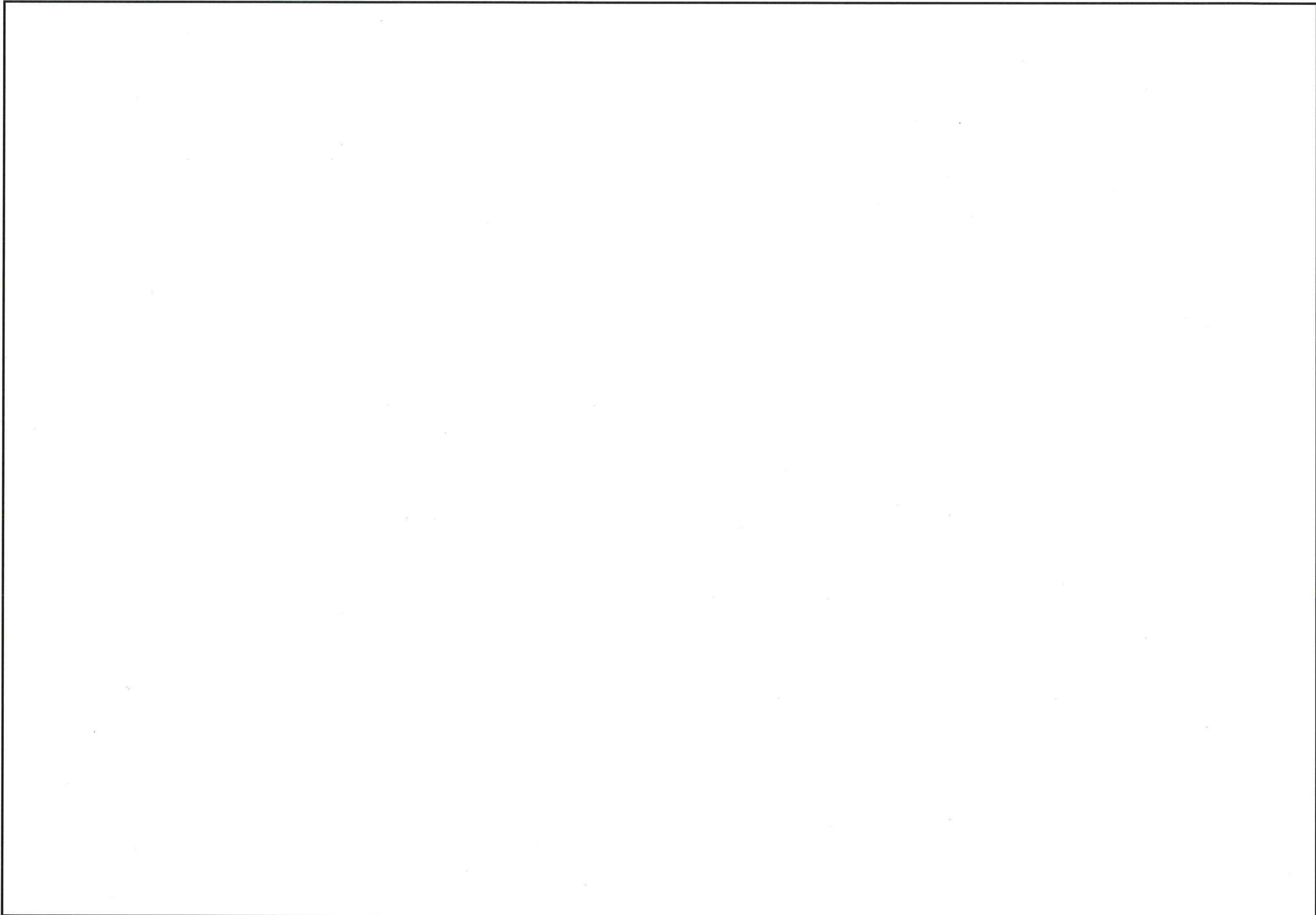
高浜 1，2 号機における火災の影響軽減対策を実施する箇所を示す資料を、次頁以降に示す。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



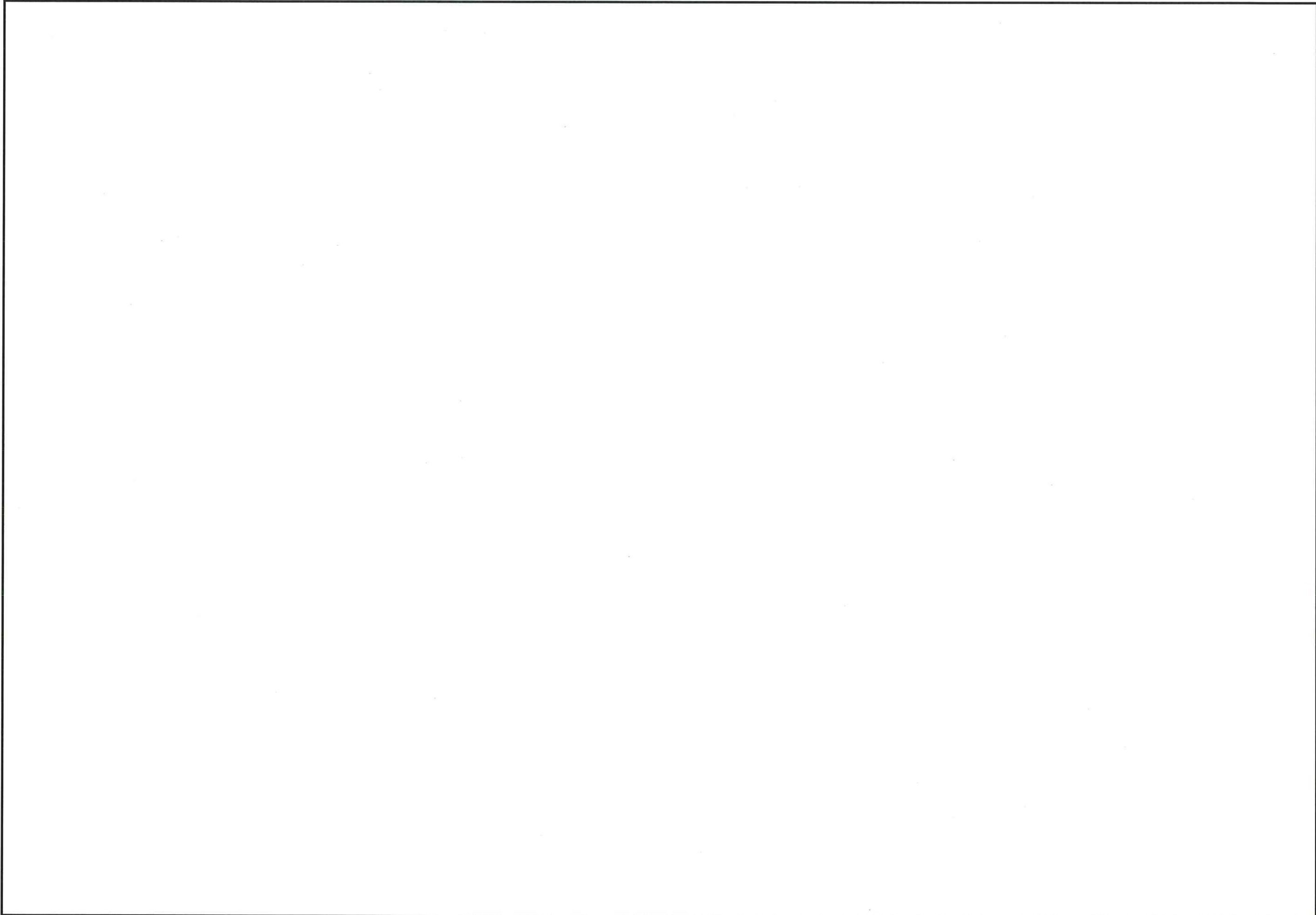
枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



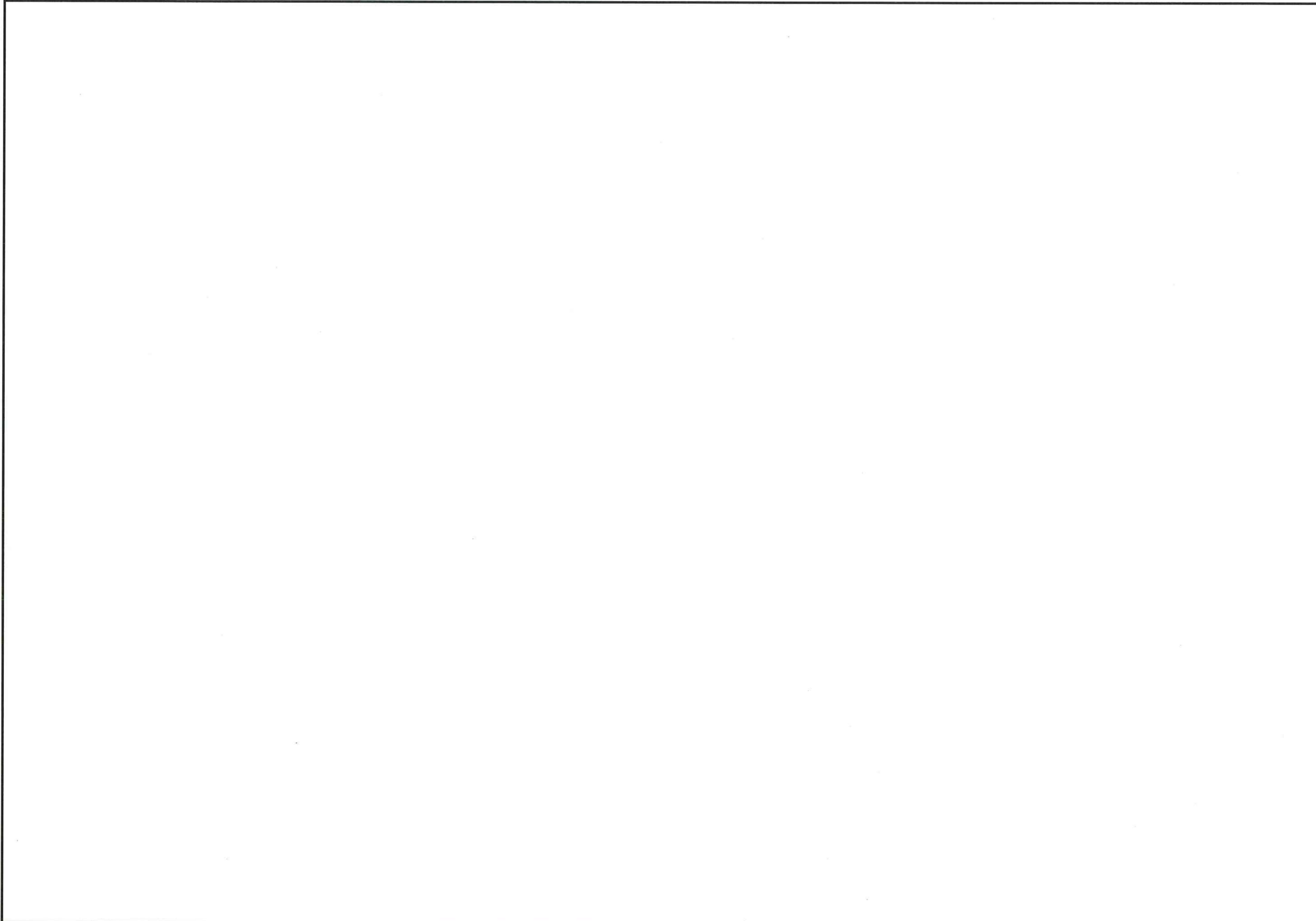
枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

別添 3-1

高浜 3, 4 号機

各火災区域（区画）の影響軽減対策

1. 目 的

本資料は、火災防護に関する説明書6.2項に示す各火災区域、火災区画の系統分離対策の状況を示すために、別添として添付するものである。

2. 内 容

高浜3，4号機における各火災区域又は火災区画の系統分離対策の状況を、次頁以降の表に示す。

高浜発電所3号機 各火災区域(区画)における火災の影響軽減対策

区分	番号	名称	原子炉の安全停止に必要な機器等の有無(注1)	放射性物質の漏洩等の有無(注1)	重大事故等対応施設の有無(注2)	成功パスの有無(注3)	火災感知器	消火設備	消火方法	防護する系統	防護対象のケーブルの有無	防護対象の有無	基本設計方針	備考 (電線管受皿内容)
火災区画		2次系統電器室	無	無	無	無	煙感知器 熱感知器	スプリングクラー(消火困難、系統分離) 全域ハロン消火設備(消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備	自動 自動	B	有	有	ロ	
火災区画		中央制御室ケーブル処理室(3・4号機共用)	無	無	無	—	煙感知器 熱感知器	全域ハロン消火設備(消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備(系統分離)	自動 自動	A	有	有	ロ	
火災区画		1次系統電器室	有	無	無	—	煙感知器 熱感知器 炎感知器	全域ハロン消火設備(消火困難、系統分離)	自動	A	無	有	ロ	
火災区画		海水管室	有	無	無	無	煙感知器 熱感知器	スプリングクラー(消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備(系統分離)	自動 自動	A	有	有	イ	
火災区画		電動補助給水ポンプ、空調用冷凍機室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器 炎感知器	スプリングクラー(消火困難、系統分離) 局所ハロン消火設備(消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備(系統分離) エアロソール消火設備	自動 自動 自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		原子炉補機冷却水冷却器室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器 炎感知器	スプリングクラー(消火困難、系統分離) 局所ハロン消火設備(消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備(系統分離)	自動 自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		中間建屋	無	無	無	無	煙感知器 熱感知器	スプリングクラー(消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備(系統分離)	自動 自動	B	有	有	ハ	
火災区画		中央制御室空調装置室	無	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリングクラー(消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備(系統分離)	自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		配管貫通部冷却ユニットファン室・再循環弁室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリングクラー(消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備(系統分離)	自動 自動	B	無	有	ハ	
火災区画		ほう酸ポンプ室及びほう酸タンク室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器 炎感知器	全域ハロン消火設備(消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備(系統分離)	自動 自動	A	有	有	ロ	
火災区画		原子炉補助建屋	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリングクラー(消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備(系統分離)	自動 自動	A	無	有	ハ	
火災区画		ほう酸注入循環ポンプ室他	有	無	有	有	煙感知器 熱感知器	スプリングクラー(消火困難、系統分離)	自動	A	有	有	ハ	
火災区画		海水ポンプ室(3・4号機共用)	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器 炎感知器	二酸化炭素消火設備(系統分離)	自動	A	有	有	ハ	

(注1)いずれかの感測が「有」である、又は火災防護対象ケーブルがある場合は、消火困難対象の火災区域又は火災区画

(注2)火災の影響軽減対策には関与しない

(注3)「無」であれば系統分離対策対象の火災区域又は火災区画

枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

高浜発電所4号機 各火災区域(区画)における火災の影響軽減対策

区分	番号	名称	原子炉の安全停止に必要な機器等 ^(注1) の有無	放射性物質等の機器等 ^(注1) の有無	重大事故等対応施設 ^(注2) の有無	成功パス ^(注3) の有無	火災感知器	消火設備	消火方法	防護する系統	防煙対象のケーブルの有無	防護対象の有無	基本設計方針	備考 (電線管束内内容)
火災区画		2次系統電器室	無	無	無	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分離) 全域ハロン消火設備(消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備(系統分離)	自動 自動 自動	B	有	有	ハ	
火災区画		1次系統電器室	有	無	無	—	煙感知器 炎感知器	全域ハロン消火設備(消火困難、系統分離)	自動	A	無	有	ロ	
火災区画		海水管室	有	無	無	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備(系統分離)	自動 自動	A	有	有	イ	
火災区画		電動補助給水ポンプ、空調用冷凍機室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器 炎感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分離) 全域ハロン消火設備(消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備(系統分離) エアロゾル消火設備	自動 自動 自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		原子炉補機冷却水冷却器室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器 炎感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分離) 局所ハロン消火設備(消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備(系統分離)	自動 自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		中間建屋	無	無	無	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備(系統分離)	自動 自動	B	有	有	ロ	
火災区画		中央制御室空調装置室	無	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備(系統分離)	自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		配管貫通部冷却ユニットファン室・再帰環弁室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備(系統分離)	自動 自動	B	無	有	ハ	
火災区画		ほう散ポンプ室及びほう散タンク室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器 炎感知器	全域ハロン消火設備(消火困難、系統分離) ケーブルトレイ消火設備(系統分離)	自動 自動	A	有	有	ロ	
火災区画		ほう散注入報警ポンプ室他	有	無	有	有	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分離)	自動	A	有	有	ハ	

(注1)いずれかの感測が「有」である。又は火災防護対象ケーブルがある場合は、消火困難対象の火災区域又は火災区画

(注2)火災の影響軽減対策には関与しない

(注3)「無」であれば系統分離対策対象の火災区域又は火災区画

枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

別添 3-2

高浜 3, 4 号機

火災防護対策 火災区域又は火災区画の系統分離対策

1. 目的

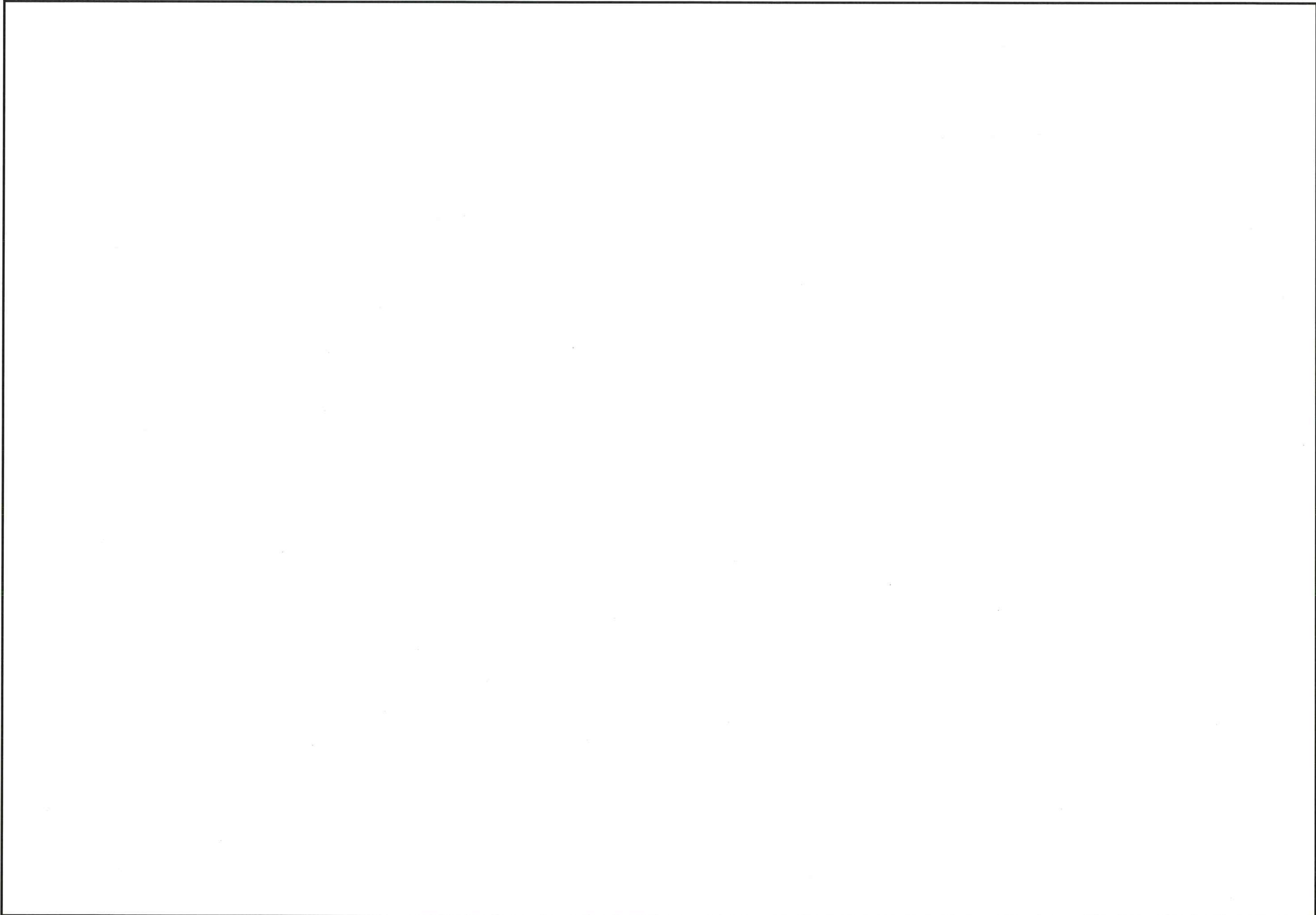
本資料は、火災防護に関する説明書 6.2 項に示す火災の影響軽減対策を行う箇所を示すために、別添として添付するものである

2. 内容

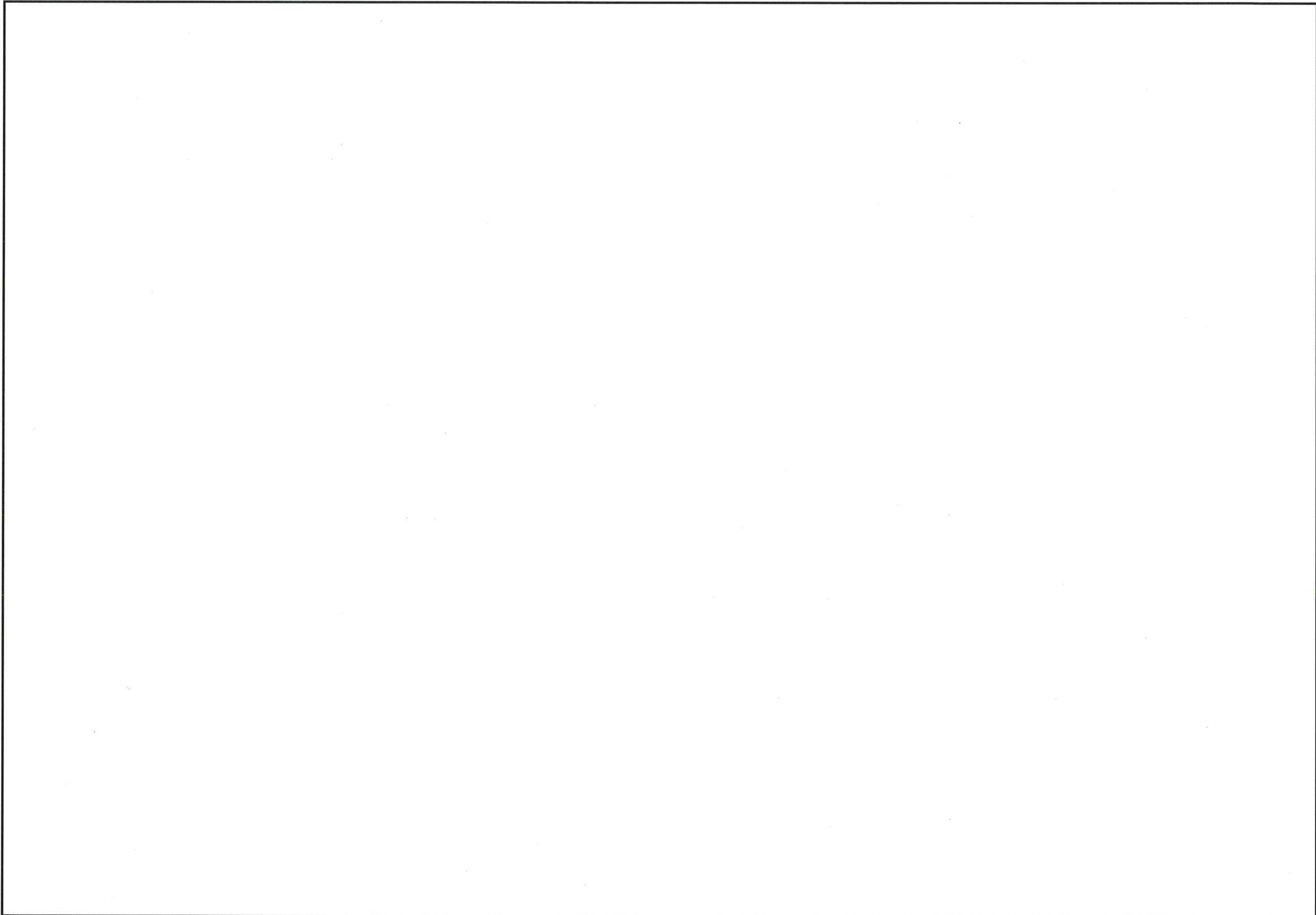
高浜 3，4 号機における火災の影響軽減対策を実施する箇所を示す資料を、次頁以降に示す。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



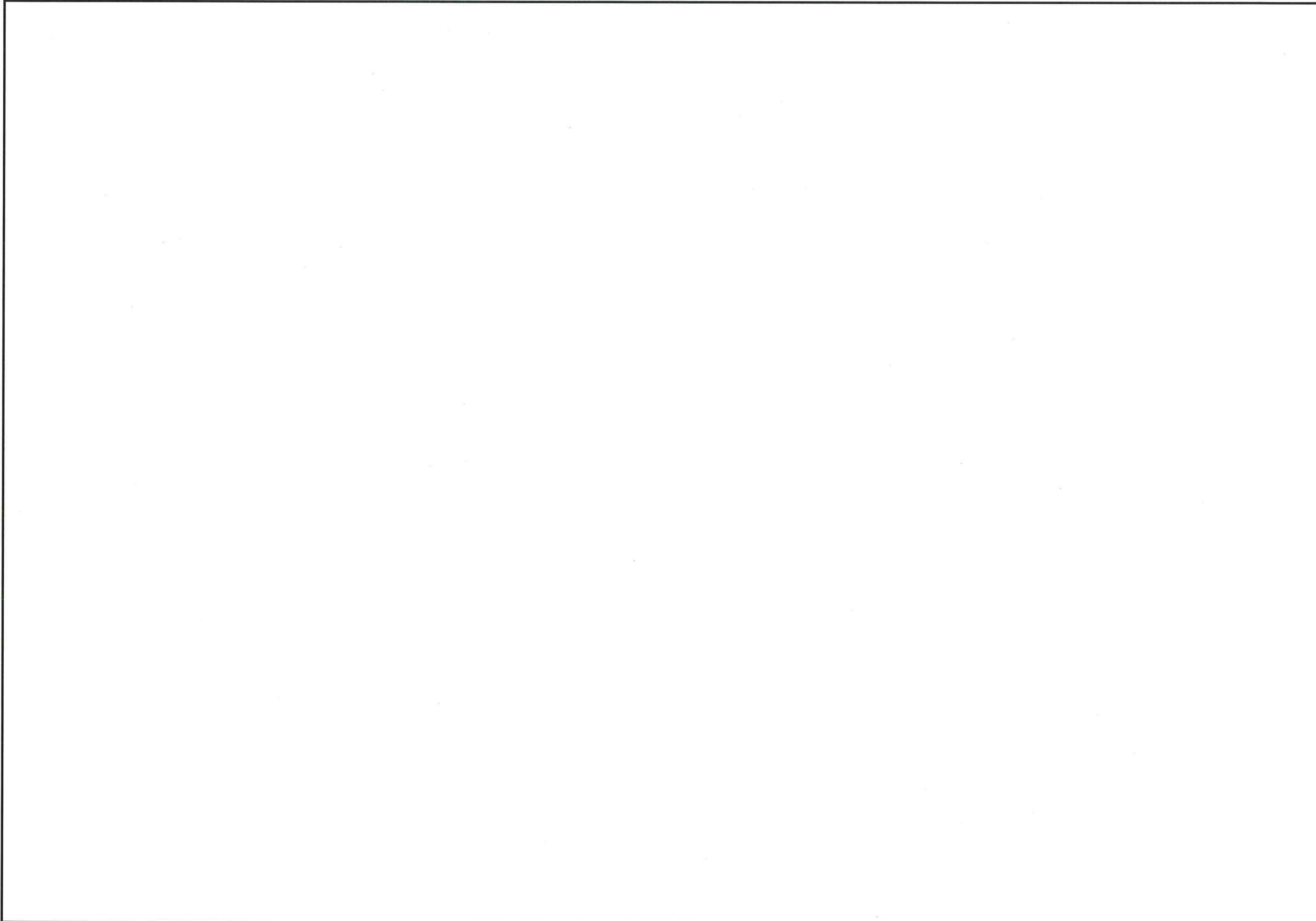
枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

別添 4-1

大飯 3, 4 号機

各火災区域（区画）の影響軽減対策

1. 目 的

本資料は、火災防護に関する説明書6.2項に示す各火災区域、火災区画の系統分離対策の状況を示すために、別添として添付するものである。

2. 内 容

大飯3，4号機における各火災区域又は火災区画の系統分離対策の状況を、次頁以降の表に示す。

区分	帯号	名称	原子炉の安全停止に必要な機器等の有無(注1)	放射能物質貯蔵等の機器等の有無(注1)	重大事故等対処施設の有無(注1)	成功バスの有無(注3)	火災感知器	消火設備	消火方法	防護する系統	防護対象のケーブルの有無	防護対象の電線管の有無	基本設計方針	備考 (電線管区画内容)
火災区画		ほう酸ポンプ・ほう酸タンク室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器 炎感知器	スプリングラレー(消火困難、系統分働) ケーブルトレイ消火設備(消火困難、系統分働) 局所ハロン消火設備(消火困難、系統分働)	自動 自動 自動	B	有	有	ロ	
火災区画		制御用空気圧縮装置室	有	無	無	無	煙感知器 熱感知器 炎感知器	スプリングラレー(消火困難、系統分働) ケーブルトレイ消火設備(消火困難、系統分働) 局所ハロン消火設備(消火困難、系統分働)	自動 自動 自動	A	有	有	ロ	
火災区画		A 安全補機室空調ファン、配管室	有	無	無	無	煙感知器 熱感知器	スプリングラレー(消火困難、系統分働) ケーブルトレイ消火設備(消火困難、系統分働)	自動	B	無	有	ロ	
火災区画		制御機駆動装置電源室及び通路	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリングラレー(消火困難、系統分働) ケーブルトレイ消火設備(消火困難、系統分働) 全線ハロン消火設備(消火困難)	自動 自動 自動	A	有	有	ロ	
火災区画		体積制御タンク及び通路	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリングラレー(消火困難、系統分働) ケーブルトレイ消火設備(消火困難、系統分働) 局所ハロン消火設備(消火困難)	自動 自動 自動	B	有	有	ロ	
火災区画		ベネトレーションエリア	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリングラレー(消火困難、系統分働) ケーブルトレイ消火設備(消火困難、系統分働)	自動 自動	B	無	有	ロ	
火災区画		通路(E.L.)	無	無	無	有	煙感知器 熱感知器	スプリングラレー(消火困難) エアロソール消火設備(電気室内)	自動 自動	B	有	有	ロ	
火災区画		原子炉補機冷却水ポンプ室-2 (3号機)	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器 炎感知器	スプリングラレー(消火困難、系統分働) ケーブルトレイ消火設備(消火困難、系統分働) 局所ハロン消火設備(消火困難)	自動 自動 自動	B	有	有	ロ	
火災区画		通路(3・4号機共用)	無	無	無	有	煙感知器 熱感知器	スプリングラレー(消火困難) ケーブルトレイ消火設備(消火困難)	自動 自動	A	有	有	ロ	
火災区域		海水ポンプ室(3・4号機共用)	有	無	有	無	熱感知器 炎感知器	二酸化炭素消火設備(系統分働)	自動	B	無	有	イ	

(注1)いすゞの設備が「有」である、又は火災防護対象ケーブルがある場合は、消火困難対象の火災区域又は火災区画

(注2)火災の影響軽減対策には関与しない

(注3)「無」であれば系統分働対策対象の火災区域又は火災区画

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

区分	番号	名称	原子炉の安全停止に必要となる機器等(注1)の有無(注2)	放射能物質の機器等(注1)の有無(注2)	重大放射能汚染の発生(注1)の有無(注2)	成形ガス(注3)の有無(注2)	火災感知器	消火設備	消火方法	防連する系統	防連対象のケーブルトレイの有無	防連対象の電線管の有無	基本設計方針	備考 (電線管設置内容)
火災区画		B 安全系冷却器室	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分層) ケーブルトレイ消火設備(系統分層)	自動 自動	A	有	有	ロ	
火災区画		通路(E.L.)	有	無	無	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分層) ケーブルトレイ消火設備(消火困難、系統分層)	自動 自動	B	有	有	ロ	
火災区画		ほう酸ポンプ・ほう酸タンク室	有	無	有	無	煙感知器 炎感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分層) 局所ハロン積火設備(消火困難、系統分層)	自動 自動	B	無	有	ハ	
火災区画		制御用空気圧縮装置	有	無	無	無	煙感知器 熱感知器 炎感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分層) ケーブルトレイ消火設備(消火困難、系統分層) 局所ハロン積火設備(消火困難、系統分層) エアロゾル消火設備(電気室内)	自動 自動 自動 自動	A	有	有	ハ	
火災区画		制御機駆動装置電源室及び通路	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分層) 全滅ハロン消火設備(消火困難) ケーブルトレイ消火設備(消火困難、系統分層)	自動 自動 自動	A	有	有	ロ	
火災区画		ベネトレーショニア	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分層) ケーブルトレイ消火設備(消火困難、系統分層)	自動 自動	B	無	有	ロ	
火災区画		体積制御タンク及び通路	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分層) ケーブルトレイ消火設備(消火困難、系統分層) 局所ハロン積火設備(消火困難)	自動 自動 自動	A	有	有	ロ	
火災区画		格納容器給気ファン室及び通路	有	無	有	有	煙感知器 熱感知器	スプリンクラー(消火困難) 全滅ハロン消火設備(消火困難)	自動 自動	B	有	有	ロ	
火災区画		原子炉補機冷却水ポンプ室-2(4号機)	有	無	有	無	煙感知器 熱感知器 炎感知器	スプリンクラー(消火困難、系統分層) ケーブルトレイ消火設備(消火困難、系統分層) 局所ハロン積火設備(消火困難)	自動 自動 自動	B	有	有	ロ	

(注1)いづれかの設備が「有」である、又は火災防護対象ケーブルがある場合は、消火困難対象の火災区域又は火災区画
(注2)火災の影響軽減対策(注1)とは別として、
(注3)「無」であれば系統分層対策対象の火災区域又は火災区画

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

別添 4-2

大飯 3, 4 号機

火災防護対策 火災区域又は火災区画の系統分離対策

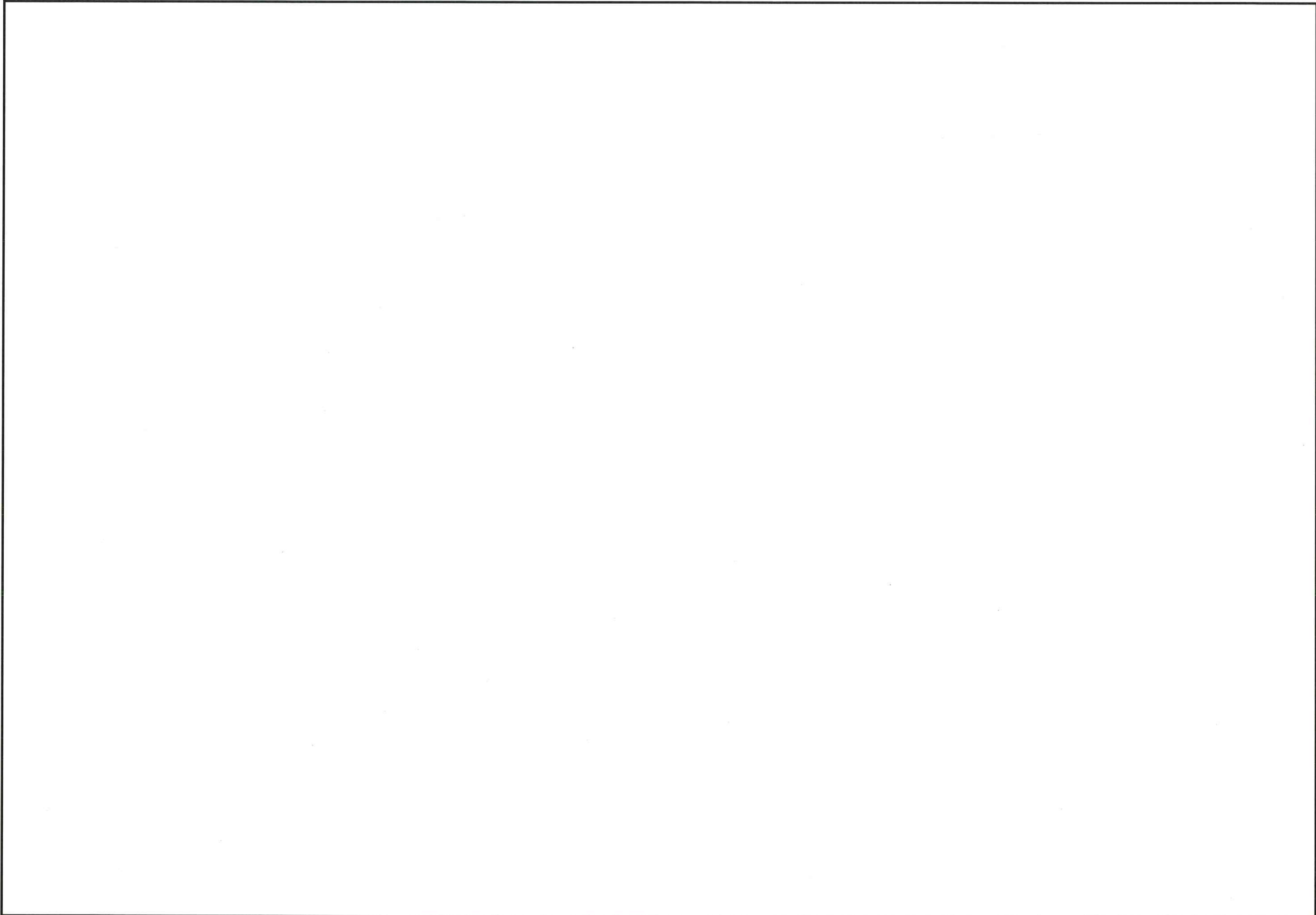
1. 目的

本資料は、火災防護に関する説明書 6.2 項に示す火災の影響軽減対策を行う箇所を示すために、別添として添付するものである

2. 内容

大飯 3, 4 号機における火災の影響軽減対策を実施する箇所を示す資料を、次頁以降に示す。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

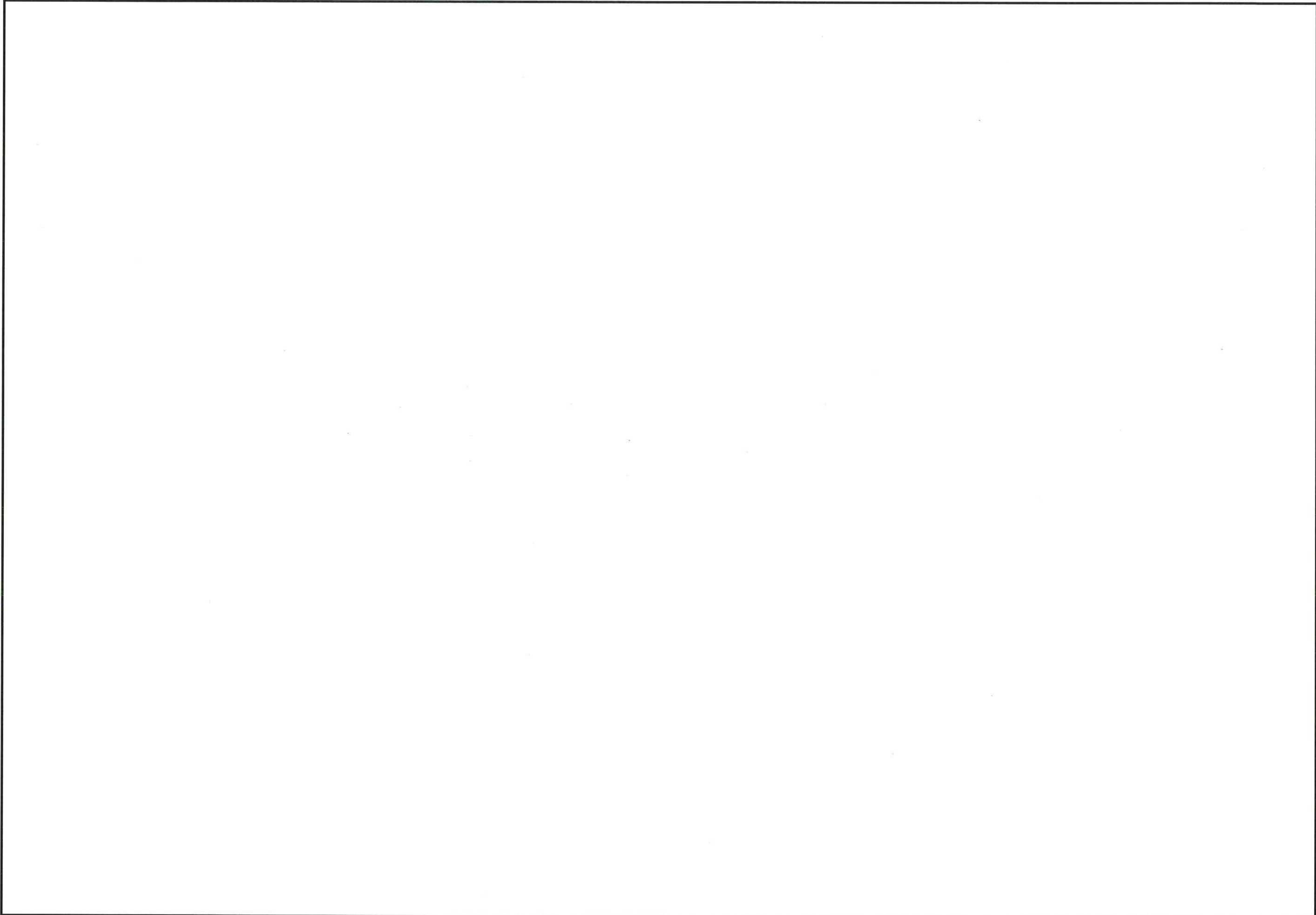
枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。